



はやぶさ2 タッチダウンの様子



近赤外分光計 (NIRS3)

## はやぶさ2搭載の「近赤外分光計(NIRS3)」がリュウグウの含水鉱物を発見

当社が開発し、はやぶさ2に搭載された「近赤外分光計(NIRS3)」による観測で、小惑星リュウグウに水の成分を含んだ鉱物があることがわかったと、会津大学や宇宙航空研究開発機構(JAXA)などのチームが発表しました。反射した赤外線をつえ、そこに含まれる物質を特定する「近赤外分光計(NIRS3)」でリュウグウの表面を観測し、水の成分を含む鉱物が、少量ながら広く分布していることが判明したものです。

地球の海の水は、太古に飛来した小惑星がもたらしたとの説があります。その検証のため、リュウグウから石を持ち帰る予定であり、今回の発見で、その石の分析から海の起源に迫れると期待が高まっています。

明星電気の観測機器は、これからも宇宙開発の発展に貢献していきます。

(担当:宇宙防衛事業部)



## 日本テレビ「イノセンス 冤罪弁護士」の第9話で撮影協力

日本テレビで放送された「イノセンス 冤罪弁護士」の第9話にて、当社のラジオゾンデ iMS-100や簡易GPSゾンデ受信システムが収録に使われ、その様子が3月16日に放送されました。

この番組は、身近に潜む“えん罪”の恐怖、犠牲となった弱き人々を救う異色弁護士の物語で、一人の若き弁護士が、科学者、ジャーナリスト達の協力を得て、意外な実証実験で冤罪事件を解き明かしていくストーリーです。第9話のなかで、山地斜面の気温が麓に比べて相対的に高くなる「斜面温暖帯」を検証するため、当社のiMS-100を放球し、ゾンデ受信機で気温観測データを確認しました。

今後このような機会をとらえ、ラジオゾンデをはじめとするさまざまな当社製品をみなさまにお伝えしていきます。

(担当:気象防災事業部、総務人事部)



収録に使用したラジオゾンデiMS-100と受信機



基調講演の様子

## 南海トラフ地震 地域「防災・減災」シンポジウム2019に出展

気象庁主催の『南海トラフ地震 地域「防災・減災」シンポジウム2019』が3月4日名古屋、10日和歌山、12日徳島で開催されました。

これは「南海トラフ地震」について、最新の知見や防災に関する取り組みを紹介するとともに、「南海トラフ地震」や「長周期地震動」についての情報、「緊急地震速報」、「津波警報」などを活用した地域防災をテーマにしたシンポジウムです。基調講演や各地域のメディア・自主防災組織の方々のパネルディスカッションがあり、企業・自治体の防災担当の方々などが多数集まりました。

当社はANET様、南海電設様とともに新しいPLUM法対応のQCASTシリーズを展示し、活用方法など広くご紹介しました。

(担当:気象防災事業部)



QCASTシリーズ展示

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。

明星電気の活動をご紹介します。